

平成24年度
おもな
事業と
決算額



花園コミセンの建設
(3億7,970万円)
(防衛省「民生安定施設
設置助成事業」活用)



市営住宅の建設
みどり団地2号棟(8億247万円)
(国交省「住宅市街地総合
整備事業」活用)



スポーツセンターの改修
(1億3,113万円)
(防衛省「民生安定施設
設置助成事業」活用)



グリーンベルトの整備
(9,731万円)
(防衛省「再編交付金」充当)

1

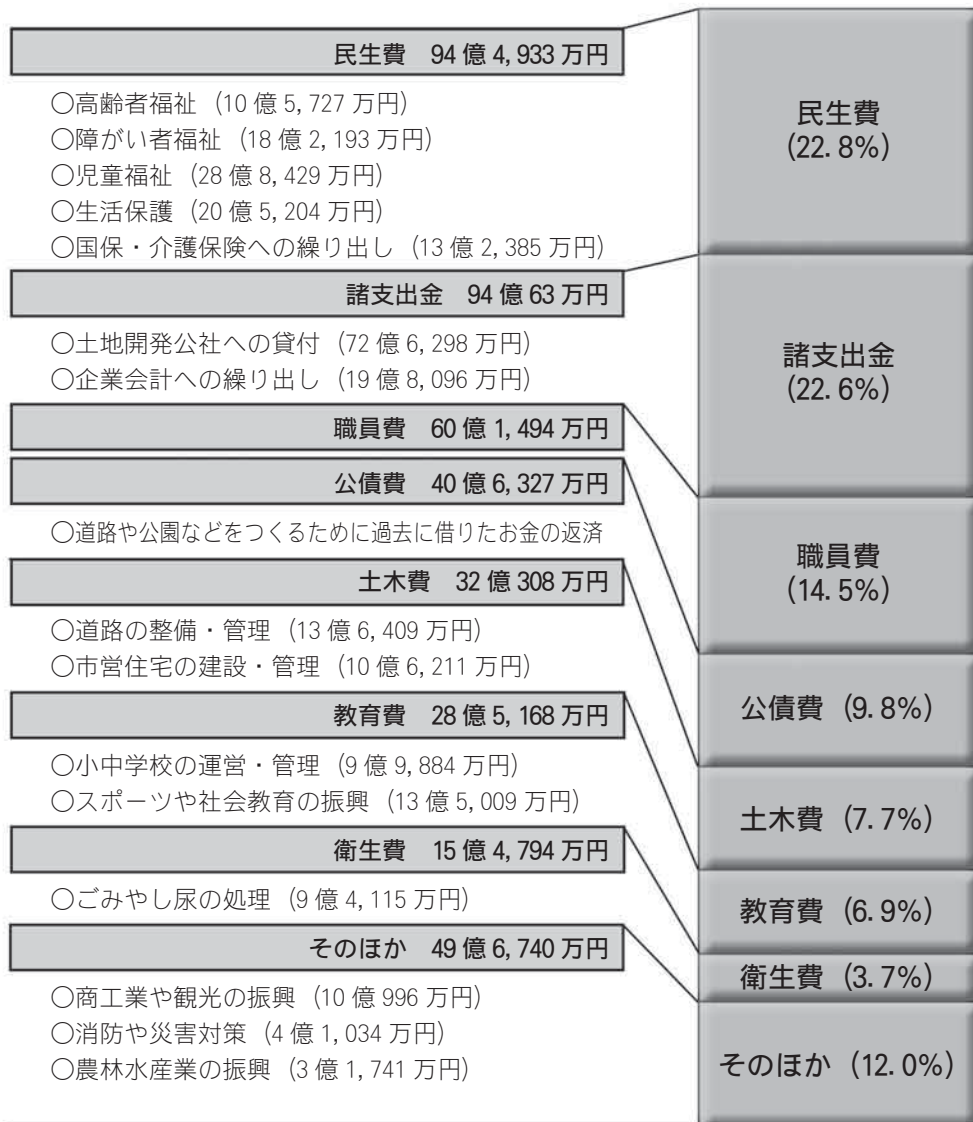
一般会計

下の左右の図は、一般会計の歳入と歳出を表しています。
平成24年度の決算額

歳入	425億1,973万円
歳出	414億9,827万円

差し引き、10億2,146万円の黒字になっていますが、そのうち、44万円は翌年度の事業費として繰り越すため、実質的には、10億2,102万円の黒字になりました。
予算の執行(お金をつかう)にあたり、経費の節減や業務の見直しなどを行った結果、収支不足分として、当初、見込んだ基金(貯金)からの繰り入れをすることなく決算を行い、黒字額のうち、国への返還金などを除く、7億1,656万円を基金に積み立てました。

一般会計 **歳出** …平成24年度、市から出たお金
決算額 **414億9,827万円**

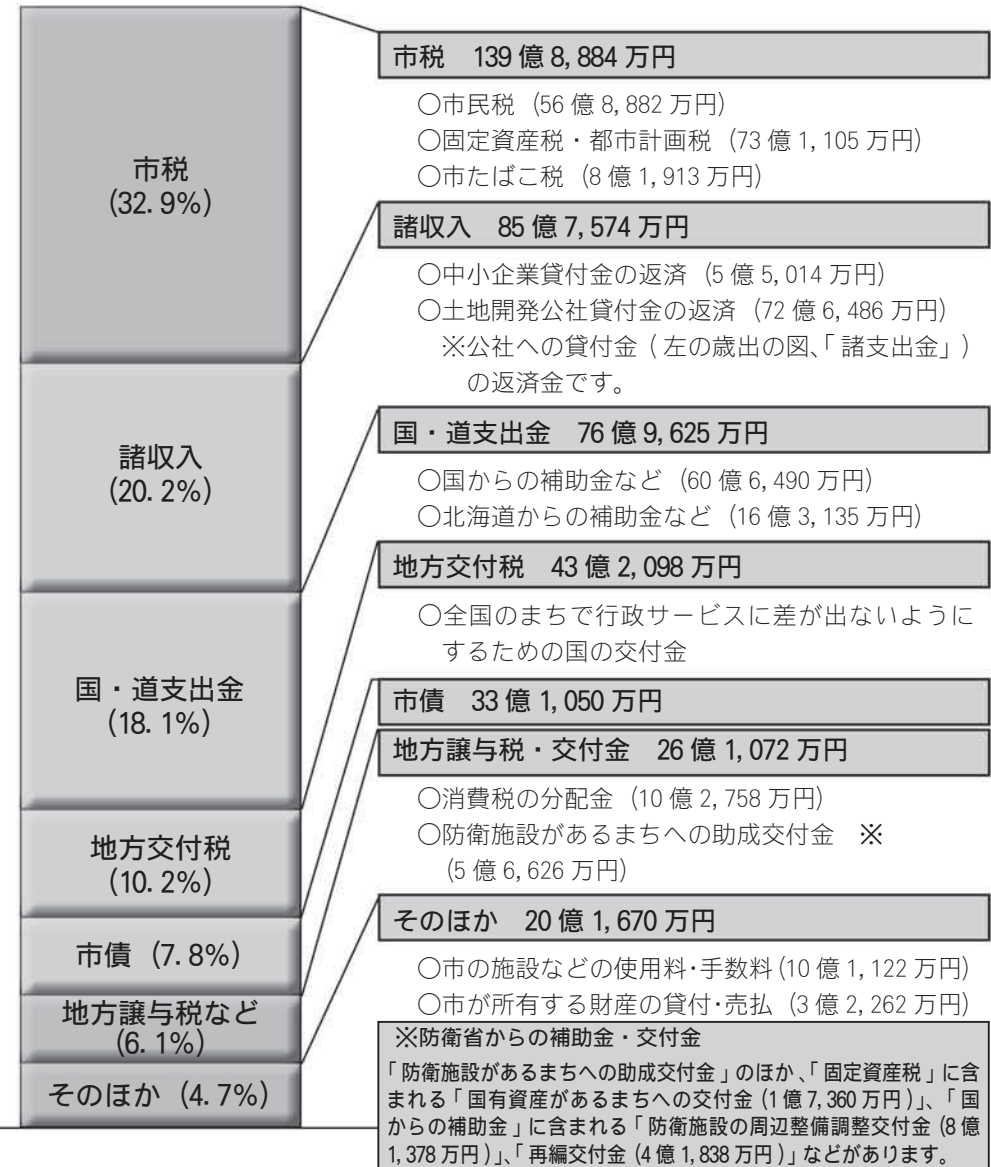


市の会計は、3種類あります

予算は、目的ごとに収支を明らかにするため、会計を「一般会計」、「特別会計」、「公営企業会計」の3つに分けています。

①一般会計 (2・3ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ■いちばん金額が大きな会計で、福祉や教育、道路整備など、基本的な経費が中心になります。 ■市民の皆さんが納める税金や国からの地方交付税などの収入でまかなわれています。
②特別会計 (4ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ■保険料や使用料など、特定の収入がある会計です。収入の使い道が決まっています、それぞれの収支を明らかにするため、一般会計と分けています。
③公営企業会計 (4ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ■一般の会社と同じように、独自の収入で経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計です。

平成24年度、市に入ってきたお金 … 一般会計 **歳入**
決算額 **425億1,973万円**



平成24年度
ちとせの
決算

市は、市税などの歳入(市に入ってくるお金)と、事業などに使う歳出(市から出ていくお金)を算定して、1年間の予算をつくりまします。今の特集は、予算がどのように使われ、市の財政状況はどのようなになったのか、平成24年度の決算についてお知らせします。

まちの借金

■学校や公園など、施設の建設には多額の経費が必要になるため、市は、国や銀行などからお金を借りて事業を実施しています。

■借り入れたお金の返済を通して、将来の利用者に対しても公平に費用を負担していただいています。

市が借りているお金(市債)

一般会計	355 億 9,398 万円
特別会計	1 億 8,762 万円
公営企業会計	269 億 3,164 万円
合計	627 億 1,324 万円

むすびに・・・

■平成24年度の決算では、一般会計・特別会計・公営企業会計は、いずれも黒字になりました。

■国内においては、円安などにより、経済の緩やかな回復が見込まれていますが、少子高齢化・人口減少社会の対応、依然として厳しい景気・雇用情勢への対応など、市の財政は、これからも厳しい状況が続くものと考えます。

■市は、「財政標準化計画」に基づき、収支のバランスを維持・継続しながら、今後も安定したサービスの提供と持続可能なまちづくりを目指した財政運営を進めます。

※決算状況などは、市のホームページ、「市の組織と仕事」-「財政」のページに掲載しています。

特集記事の
お問い合わせ
総務部
財政課財政係
☎(24)0541

まちの財産

■市は、市政を進めていくために必要な財産を持ち、目的に合わせて効率的な運用を行っています。

■財産には、公園などの土地、学校などの土地・建物、有価証券、出資による権利、基金があります。

土地・建物

財産区分	土地	建物
行政財産	1,179万7,402㎡	46万8,224㎡
公用財産	142万9,713㎡	5万2,276㎡
公共用財産	1,036万7,689㎡	41万5,948㎡
普通財産	253万9,884㎡	1万7,910㎡
合計	1,433万7,286㎡	48万6,134㎡

■公用財産
市役所など、市が直接使用する財産

■公共用財産
学校や公園など、市民が使用する財産

■普通財産
公用財産・公共用財産以外の財産

有価証券(株券など)	35 億 3,955 万円
出資による権利(法人への資本金出資など)	4 億 6,574 万円
基金(まちの貯金)	93 億 7,904 万円

※財産の維持や資金の積み立て・運用のため、目的別に16の基金を設けています。

- 公共施設整備基金
- 国民健康保険事業財政調整基金
- 地域福祉振興基金
- 介護保険事業給付費準備基金
- 心のふるさと千歳基金
- 特定防衛施設周辺整備調整交付金基金
- 財政調整基金
- 奨学基金
- 土地開発基金
- ふるさと千歳国際交流基金
- 職員退職手当基金
- 特定地域振興基金
- 農業振興基金
- 減債基金

財政健全化を判断する指標

■「財政健全化法」により、まちの財政状況を表す5種類の指標のうち、ひとつでも国が決めた基準を超えた場合は、財政再建に向けた計画をつくるなどの取り組みを進めることとなります。

■平成24年度の市の決算は、基準を超える指標はひとつもなく、財政は健全な状況といえます。

指標	指標の説明 ※数値が大きいほど 財政運営が厳しい状態	市の 比率	国が決めた基準	
			早期健全 化基準	財政再 生基準
実質赤字比率	「市の財政の標準的な大きさ」に対する「公営企業を除いた赤字の総額」の比率	黒字 決算	12.48%	20.0%
連結実質赤字比率	「市の財政の標準的な大きさ」に対する「公営企業を含む市全体の赤字額」の比率	黒字 決算	17.48%	30.0%
実質公債費比率	「国の補てん分を除いた市の財政の標準的な大きさ」に対する「公営企業を含む借入金の年間返済額」の比率	10.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	「国の補てん分を除いた市の財政の標準的な大きさ」に対する「将来負担する借入金の総額」の比率	72.6%	350.0%	
資金不足比率 (公営企業ごと)	「公営企業の資金不足額」に対する「公営企業の事業規模」の比率	該当なし	20.0%	

2

市には、6つの特別会計があり、予算の範囲内で、それぞれの事業をやりくりしています。

特別会計

種別	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険特別会計 (国民健康保険事業を運営するための会計)	89億2,578万円	84億8,348万円	4億4,230万円
土地取得事業特別会計 (公共施設用地をあらかじめ取得するための会計)	3,530万円	3,491万円	39万円
公設地方卸売市場事業特別会計 (公設地方卸売市場を運営するための会計)	3,240万円	3,224万円	16万円
霊園事業特別会計 (霊園の用地取得や管理運営のための会計)	5,082万円	5,078万円	4万円
介護保険特別会計 (介護保険事業を運営するための会計)	36億5,599万円	36億5,570万円	29万円
後期高齢者医療特別会計 (75歳以上の方などの医療保険制度のための会計)	8億1,182万円	8億912万円	270万円
合計	135億1,211万円	130億6,623万円	4億4,588万円

病院事業

下水道事業

水道事業

業務の状況

市民病院

■入院...51,468人(141人/日)
前年度に比べて、3,821人、1日平均10人減少しました。

■外来...164,663人(672人/日)
前年度に比べて、1,599人、1日平均9人減少しました。

泉郷診療所

■外来...773人(5人/日)
前年度に比べて、73人減少しました。

支笏湖診療所

■外来...885人(4人/日)
前年度に比べて、14人増加しました。

■排水戸数...39,226戸

市が下水道の処理をしている建築物の戸数。前年度に比べて610戸増加しました。

■総処理水量...19,107,376m³
市が下水道で処理した下水の総水量。前年度に比べて約1.2%増加しました。

■有収水量...13,552,704m³

総処理水量のうち、下水道使用料収入が得られる水量。前年度に比べて約0.5%減少しました。

■有収率...71%

下水道の総処理水量のうち有収水量の割合が高いほど良好な指標。前年度に比べて約1%減少しました。

■給水人口...94,051人

市が水道で飲料水を供給している人の数。前年度に比べて586人増加しました。

■総配水量...11,873,190m³

飲料水として浄水場から送り出された総水量。前年度に比べて約0.2%増加しました。

■有収水量...11,128,667m³

総配水量のうち、水道料金収入が得られる水量。前年度に比べて約0.4%増加しました。

■有収率...93.7%

水道の総配水量のうち有収水量の割合が高いほど良好な指標。前年度に比べて約0.1%増加しました。

3

市には、水道事業、下水道事業、3つの公営企業会計があります。病院事業の

公営企業会計

決算の状況

収益的収支の決算

収入 53 億 8,182 万円	収入 24 億 8,645 万円	収入 17 億 2,255 万円
支出 52 億 3,772 万円	支出 23 億 6,966 万円	支出 16 億 1,485 万円

資本的収支の決算

収入 1 億 6,580 万円	収入 18 億 1,594 万円	収入 4 億 8,531 万円
支出 6 億 7,596 万円	支出 29 億 9,480 万円	支出 11 億 3,551 万円

内部留保資金残高 19 億 2,294 万円	内部留保資金残高 13 億 2,693 万円	内部留保資金残高 14 億 182 万円
---------------------------	---------------------------	-------------------------

■収益的収支の決算
1年間の事業活動で得られる収益と費用を損益計算の形で表すもので、会社の経営成績

■資本的収支の決算
1年間に支出した施設の建設経費(施設建設のための借金返済などを含む)とその財源となる収入

※内部留保資金は、過去からの利益(黒字)の蓄積によって生じた資金で、事業運営に必要な運転資金になります。